

EVENT SCHEDULE

FLATではスクーリングやワークショップ、イベントなどを定期的に開催しています。

FLAT WORKSHOP

地酒たんけん蔵部 第5回
日本酒呑み放題(呑みきり)+お酒に合う料理
2013.10.25(fri) 19:30~23:00
[Fee] ¥4,000 -定員15名-



自分にぴったりの地酒を探している
んな酒蔵を探索!!いっしょに美味しく
楽しく探検する入部者募集中です!!
今回は永平寺町にあります、「吉田
酒造〜白龍〜」さんを飲み比べます!

SCHOOLING Vol. 18

GEST: 相模友士郎(演出家) ×
村川拓也(演出家・映像作家)
2013.11.8(fri) 19:30~21:30
[Fee] ¥1,500 -定員40名-



現在福井に住む地域の人々との舞台を
滞る制作中の相模友士郎とドキュ
メンタリー的な手法を用いた舞台作品で
注目を集める村川拓也。気鋭の演出家
2人によるスクーリングを開催します。

MADBUNNY
Loveless/BYSDNTRY.
New Book Launch TOUR

2013.11.16(sat) - 11.24(sun)
15:00~24:00 [Fee] Free



福井では初となるMADBUNNYの展覧会
です。そのスピード感溢れる「生と死」の感覚
を、「写真」や「ドローイング」に忍び込ませ、
ヨーロッパを拠点に活動中。今回はNew
Bookの発表をかねて全国ツアーを敢行!



FLAT MGNT ISSUE 21

FP-021 ISSUE 21 October 2013

誰も価値を感じなかったビルを
多くの人の創造力と行動力で再生し、
地域に根ざした文化創造塾として
蘇った空間。その中で、多くの人との
交流から生まれる自己の再発見。
自らの意思で「学ぶ」事を目的とし、
食とデザインとものづくりを核にした
新しいコミュニティの学びの「場」。
点から線へ、線から渦巻きへ…
渦巻きを創れる「人」をつくる
それが、フラット Flat Project

今回のテーマは「MGNT」

色んな人がくっついたり、離れたり…
そんな感じでもまたフラットプレス
季刊誌として、再スタートしていきます。

これまでに開催したスクーリング ARCHIVE SCHOOLING

「学ぶ」という事を問い直し、自分自身の生き方・働き方を発見していくフラットスクーリング。一流のゲストスピーカーをお呼びし、
平等な立場でリアルに対話しコミュニケーションをとる事で、参加者自身の成長に繋がる場を創っています。

- | | |
|--|---|
| 2010.04 Schooling vol.1 黒崎輝男氏(流石創造集団) | 2010.07 Food Schooling vol.1 五十嵐美幸氏(美虎) |
| 2010.09 Schooling vol.3 服部滋樹氏(graf) | 2010.10 Schooling vol.4 菱川勢一氏(drawing and manual) |
| 2011.01 Schooling vol.7 黒田征太郎氏(K2) | 2011.09 Food Schooling vol.2 南風食堂 |
| 2013.05 Schooling vol.15 鈴木康広氏(アーティスト) | 2013.07 Schooling vol.17 後藤繁雄氏(編集者) |

NEWS コロカル 山崎亮 ローカルデザイン・スタディに取材されました!

活動資金を募っています! 多くの人に愛される活動を目指していきますので、末永くご支援いただけますよう、よろしく願っています。詳しくはHPをご参照ください。

フラットとは?

WHAT IS FLAT?

福井市呉服町にある古いビルを、ワークショップにより多くの人の創造力と行動力で再生したフラットビル。フラットはそのビルで「食」「デザイン」「ものづくり」を核に、自らの意思で学び、交流し、自己を再発見することを目的とした「場」です。さまざまなジャンルに新しい価値観を見つけ、新しい発想を生み出す「文化創造塾」です。

2F ギャラリー/多目的スペース/レンタルスペース

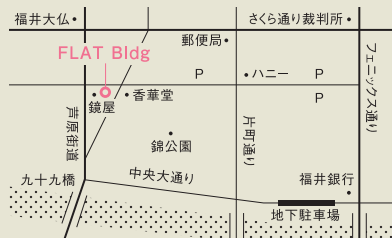
2階は多目的スペースとしてスクーリングやワークショップを開催しています。また、レンタルスペースとして低価格で貸し出ししており、パーティーや食事会、個展の会場、勉強会やワークショップのスペースとしてなど、使い方は自分次第!詳しい情報はホームページ、またはお電話にてお問い合わせください。

Rental space 1DAY : 3,000yen

1F Flat Kitchen

営業時間:15:00~24:00
定休日:火曜日

フラットキッチン、福井の旬な食材を使ったカフェ&バルです。料理はその日の仕入れで毎日変わる、季節感たっぷりの黒板メニューをご用意しております。また、ご予算に応じた貸し切りでのパーティなども承っています。



910-0023 福井県福井市順化2-16-14
TEL:0776-97-5004 Mail:info@flat-fukui.tv
FLATには駐車場がありません。近くの駐車場をご利用ください。

Flat Press
October 2013 Issue 21
Published Quarterly by Flat

Publisher:Flat
Editorial Design:HUDGE & Flat Crew
Layout Design:Fuminobu Nakamura (HUDGE Inc.)
Photo:Rui Izuchi

Flat Building
910-0023 福井県福井市順化2-16-14
2-16-14 Junka Fukui-shi
Fukui 910-0023 Japan

www.flat-fukui.tv

特別協賛:藤田製本印刷 www.ftive.com/ デザイン・編集:株式会社ヒュージ www.hudge.jp/



©2013 FLAT. Reproduction of any materials appearing in this free paper is forbidden without prior written consent of the publisher.

FLATに編集者の 後藤繁雄さんが来た!

text: 藤田茂治 (FLAT)

フラットプレスを読んでくれている若者の皆様。後藤繁雄さんについてご存知ですか?後藤繁雄さんは、編集者であり、クリエイティブディレクター。雑誌や本、アートブックの編集から、最近では、篠山紀信、蜷川実花らの写真展などのプロデュースを手がけられているし、自身が運営する写真、コンテンポラリー・アートのギャラリーで日本やアジアの若手アーティストの発掘・プロデュースなどを精力的にこなされている方。スクーリングでインタビュー秘話を話していただいたときにあがる著名人の名前も巨匠級の方ばかり。僕なら眼力一つで、ガチガチになるような方々を相手にグイグイ突っ込んで他の出版物、世の中に無い情報、本音を引き出してしまふ方。実際にお会いした印象は・・・人懐こくフレンドリーですごく面白いオジさん(人生の大先輩)でした!偉そうなところは微塵も無く世話好きな近所のおばちゃんのようにもありました。編集者ってど〜んと座って、じっと情報が集まってくるのを待っている人かと思っただけでしたが、全国津々、興味が趣く先に向かって走り回っておられます。福井県にも東京から始発で富山県に行き、一件打ち合わせをこなして、福井には夕方入りし夜は遅くまで交流会。次の日も4時台の始発で東京に帰っていかれました。ほんと寝ないでクリエイティブな活動を続けることができる、精力的すぎて、スクーリングの間、どこからその精力がくるのかとずっと観察していましたよ。

スクーリングでは、後藤繁雄さんは、お仕事の話し、それから生き方について、独特な切り口とすごい情報量で語っていただきました。あまりの情報量に、こ



の記事をどうまとめようか・・・と考えていましたが、はて、僕は後藤さんから今回のスクーリングで何をもらっただろうかと、改めて考えてみることにしました。スクーリングでは、世の中をうまく渡る秘訣を「うまくやることだ」って話していましたが、これかな・・・もちろんズル賢く振る舞うってことなんだろうけど、その裏での真摯な努力。インタビューする方の著書は全部読む。全巻読む。そうです。その方がどんな質問をされたら落ちるか。ときには作戦をたて挑んでこれたそうです。怒るかもしれないギリギリのラインを攻めながら。静かな戦いだけど、「漢」だなぁって思いながら聴講していました。これから後藤繁雄さんとは繋がっていただけると切に願っています。そのためにも、「あ、面白そう!」って思っただけのような企画を僕らも考えていかないと!がんばろ。

Shigeharu FUJITA

福井県職員15年目。工芸デザイン職です。現在、(公財)ふくい産業支援センターデザイン振興部に在籍。



僕らの時代のライフデザイン

text: 中村文信 (HUDGE)

今回面白いスクーリングとなりました。「僕らの時代のライフデザイン」著者でNOMAD TOKYOを敢行した米田智彦さん。風の様に小気味良いトークで会場をぐいぐい盛り上げ、参加者全員と「やりたい事」をテーマにひとりひとりと会話するワークショップスタイルでのスクーリング。米田さんが終始いわれていたのが「やりたいことがあったらすぐに始めよう。やれる範囲からで全然いいから」という事。

お金、時間、場所。様々な問題に理由を付けて始めの一步が出ない事が多々あると思います。やりたい事と自分との間に距離がある。しかしもっと簡単に始めてしまえば良い。むしろ興味を持った段階でもう始まっているかもしれないと思いました。シンプルに考え、ハードルを低く軽快にステップしていけば気付けばアップしているのではないのでしょうか。まずは間の距離を縮めてやっちゃう事が楽しく生きるコツなのかなと感じました。

また、ネットというインフラが整った今、発信方法やコミュニケーションの仕方が変わってきています。それによって場所に縛られずに繋がる事ができます。

地球の裏側で同じ興味を持った相手を探す事ができ、自身が別の場所においても仕事ができちゃう時代。生活の楽しみ方の選択肢が広がっています。印象に残ったのは新しいワークスタイル、副業じゃなく「複業(ひとつのジャンルに捕われず複数の仕事をする)」の事。分業化が進んでいない小規模都市、中規模都市なんかではばっちりハマる働き方なのじゃないかなあと感じました。福井だと畑をする事も複業なのかもなんて話を聞きながら思いました。人はいくつもの顔をもっています。キャラが違うなんてよく言いますが、実は幾つもの顔、いくつものキャラが複数あるのがあたりまえの姿なのかなと考えます。複業はそれを仕事で表現しているのかなと。

そうして培った自由でいて寛容性も持ったコミュニティ、そしてアメーバのような繋がりが今から重要になってくるのではないかと感じたスクーリングでした。

Fuminobu NAKAMURA

株式会社ヒュージ クリエーター。グラフィック、ウェブ、映像などマルチに活動中。FLATではWEB&プレス編集担当。

HELLO MY NAME IS FLAT KITCHEN

フラットキッチン、福井の旬な食材を使ったカフェ&バルです。
料理はその日の仕入れで毎日変わる、季節感たっぷりの
黒板メニューをご用意しております。
また、ご予算に応じた貸し切りでのパーティなども承っています。



フラットキッチンの食卓

Dining table of flat kitchen

フラットビルの玄関口、フラットキッチンはカウンター8席、テーブル2つのお店です。オープンから3年経っていい感じにお店に色が着いてきました。フラットキッチンは、おやつとコーヒーから赤ワインと肉料理までいろいろなシーンに対応する週3回通える店を目指しています。毎日来てくれたらほんとは一番うれしいんだけど。

フラットキッチンにはリエットやアヒージョなどおなじみのバルメニューはもちろん、和のテイストのお料理もあります。シーズンになれば、猟師の友達が狩って来た鹿や猪などの県産ジビエもメニューに登場します。地酒も季節の美味しいものを選んでます。

食材が地元のものならば食器も地元のものを。福井県はご存知のようにものづくりが盛んで、焼き物、塗り物の一大産地があります。お店で使っている器も越前焼、河和田塗りなど地元の物を多く使っています。

また、2階席を使ったパーティープランも大好評いただいています。前菜いろいろ、肉料理、ピッツァに飲み放題がついて3500円からのご用意となります。立食ですと30名様くらいがゆったりご利用いただける人数です。

PARTY PLAN

貸し切りでのパーティが行なえます。立食形式のカジュアルなスタイルや、ゆっくりしたおしゃべりができるプランなどがあります。基本のプランは3種類になりますが、ご予算、ご要望に合わせたアレンジも可能です。結婚式の二次会や三次会、歓送迎会などにもぜひご利用ください。

気軽Aプラン 3,500YEN

前菜プレート/お肉料理/PIZZA or パスタ + 2時間飲み放題

満足Bプラン 4,000YEN

前菜プレート/お肉料理/PIZZA or パスタ / デザート + 2時間飲み放題

上質Cプラン 4,500YEN

前菜プレート/お肉料理/PIZZA or パスタ / デザート + 2時間飲み放題



コースプランは4名様以上から承ります。

Flat Kitchen

910-0023 福井市順化2-16-1 tel/fax 0776-97-5004 www.flat-fukui.tv

TENCHOU COLUMN

やまじい

text: 藤原皓彦 (FLAT KITCHEN)



山姥の他に山爺(やまじい)ってのがいるらしいのですが、ここでいう山爺とは山で暮らし、山で生きる知恵を持った僕にとつてのヒーローのことです。ちなみに僕はやまじいと呼びたいですな。山爺に「イワナ食うか?」なんて聞かれたら「食います」って答える以外に選択肢は無いのですが、問題はイワナがチルド室からラップに包まれて出て来たのではなく、手招きされて連れて行かれた田んぼの一角の小さな池(山の水を引いている)に蒔かれた餌に寄って来たところを玉網でまさに一網打尽に捕獲され、僕の前に姿を現したことです。山爺は獲ったイワナの頭を殴れといいます。転がっている石ころで頭を殴りつけますとバタバタ動いていたイワナはぐったりと動かなくなります。山小屋にイワナを持ち帰り、山爺はイワナ料理をこしらえます。何年研いでいないか分からない包丁で刺身を引き、半身を囲炉裏で塩焼きにしろといいます。ここは腕の見せ所とばかりに炭火(炭すら山爺は自分で焼いている)でイワナを焼きます。前菜は山爺が獲った鹿の生ハム。ねっちり濃縮された山の味にはいかにも枯れた味の赤ワインが合いそうです。お次は刺身。寄生虫が怖いからよくよく噛んで食べます。山爺おすすめのんにく醤油で。毛羽立った刺身は舌触りは最低ながらもほのかな甘みと川魚特有の滋味深い味。続いて塩焼き。しっとり。鮭っぽい味がしますねって言う「鮭用の餌やっとなるからな」と山爺。そういうもんなのかい。そして山爺の作った桑の葉茶などを飲みつつふと気づいた満腹感。というより満胸感。胸いっぱい。目指すところはこの感覚の共有。

Akihiko FUJIWARA

今冬、猟師のしーちゃんと鹿の解体ショーを企画中です。ショーに協力してくれる方も募集しています。



欧州の取材拠点のひとつ、独ベルリン

世界中のヒト・カネ・コトを“集”めて“編”むということ

私は、文筆家として、「持続可能な未来づくり」をコアなテーマに、グローバルな視点から、社会起業家・グリーンビジネス・まちづくりなど、ヒト・カネ・コトにまつわる様々な分野を幅広く執筆してきました。

言語・非言語の情報を“集める”と、集めた情報を言葉で“編む”の2つのプロセスで構成されているのが、私の執筆スタイル。つまり、私にとって“執筆”は、文字通り“編集”です。

インターネットを使えば世界中の情報が瞬時に入手できる便利な現代ですが、オンライン上に存在する情報は、言語化された情報のごく一部にすぎません。そこで私は、情報をより深く広く集めるため、実際に現場へ出向くことを大切にしてきました。日本各地はもとより、ニューヨーク・サンフランシスコ・ロンドン・ベルリンなど、欧米を中心に、1年のうち3分の1程度は、現地取材に充てています。とりわけ私が重視しているのは、まだ言語化されていない情報。なぜなら、言語という理性で整理されていない事象にこそ、その本質が潜んでいる可能性が高いと考えているからです。先入観を排除したフラットな状態で、五感をフルに使い、表情や音、佇まい、テクスチャー、匂いなどから、できるだけ多くのものを感じ取り、吸収することを心がけています。

このように「情報を集める」というプロセスは、より多くのものを付加していくという“足し算”型の行為の連続ですが、限られた文字数で集めた情報を最大限に伝えるためには、これらの情報をより簡潔に表す言葉を、ひとつひとつ丁寧に探し、選び、連ねていくことが不可欠。それゆえ、「言葉で編む」プロセスでは、その本質が浮かび上がってくるまで情報を削ぎ落とし続ける、いわば「引き算」の行為を繰り返しています。編んではほどこき、ほどこいては編む——。根気を要する地味な作業ですが、これら一連のプロセスを経ると、そのヒト・モノらしさや物事の本質に出会えることが少なからずあり、これこそ、文筆家冥利に尽きる瞬間です。ますます複雑で難解にみえる、この時代。東奔西走、物理的な移動を繰り返しながら、より多くの事象に触れ、自身が感じたことを、これからも“編集”し続けたいと思っています。



Yukiko MATSUOKA

大阪生まれ、奈良育ち。米國MBA(経営学修士号)取得。経営コンサルティング、ベンチャー企業の立ち上げなどの実務を経て、物書きに転身。「持続可能な未来づくり」をテーマに掲げ、グローバルな視点からグリーンビジネスなど幅広く執筆中。海外でも積極的な取材活動を展開。

Twitterアカウント: @boochan



MGNT in FLAT

text: 高木 めぐみ × 坪田 直

こんにちは。福井と大阪を拠点に活動している私たちMGNT。この秋、FLAT3階完成と同時にMGNT福井事務所が始動し始めます。私たちが福井事務所としてFLAT3階を制作する事になり、たくさんの方の力を借りて4月から始めた計5回のワークショップでついに完成となりました!!

そこで、FLAT3階を借りてMGNTがオフィスとしてシェアする事になるわけですが、今回はちょっと“シェア”について話してみようかと思います。

高木: 最近、何かとシェアするってこと増えたよね?

坪田: そやね。

めぐみは最近どんなシェアに出会った?

高木: うーん…、今私は知り合いの方の事務所に居候させてもらって仕事をしているんやけど、これもシェアかな。その他に私の周りでは、友達同士や直接の知り合いの方、仲良くなってからのシェアしか聞かないかな?

高木: なおはどう?

坪田: 仕事を辞めて以来、自分に合ったシェアスペースを探したけど、大阪では出会いや交流を求めて集まるゆったりタイプと、経済的に家賃やコストを割ったり、ビジネスチャンスを広げるようなガッツリタイプの2種類あると思う。

坪田: 私はそんなに仕事が無かったから(笑) ゆったりしたシェアスペースで、お話とかしながら作業してたんだけど、そこで出会った人に素敵な出会いを繋いでもらって、この秋から作家さん達数人と長屋



FLAT member's Column

を改装してシェアアトリエを作るよ。

高木: そうなんや。MGNT大阪事務所楽しそうやね。

坪田: 今、シェアするみんなでその場所を上手く使えるようにルールを決めていってる段階なんだけど、私以外のメンバーは既にシェア経験者で、これを決めておくとかスムーズとか、後々もめないとか、実際の経験やエピソードを教えてもらえるから勉強になる。

出会ったばかりの人達やから不安もあるけど、かなりわくわくやね。

高木: やっぱ、シェアしたいと思う目的としては出会うって大切だよな。ふら〜と集まれるFLATも出会いが絶えないし、3階のシェアオフィスもFLATの雰囲気を崩さず利用者以外でもふらりと立ち寄れる居場所にしたいな。

小さい時に友達で秘密基地を創ってみんなでお気に入りを集めて空間を創っていったみたいに、たくさんの人に加わってもらい居場所を一緒に創ってシェアする、そんな空間はやっぱり楽しいよね。

坪田: うん、お気に入りたくさん集めたような場所になるといいね。

MGNT(マグネット)

福井を拠点にするタカギと大阪を拠点にするツボタは、共に京都精華大学建築学科で出会い、2009年にクリエイティブユニットMGNTを設立。その後、それぞれグラフィックとアーキテクト、その他アート活動等で活躍し、2013年春新たなスタイルで活動を展開中です。
<http://mgnt.info/>